

令和7年度 東海村農業振興計画進行管理委員会 摘録

1 開催日時	令和7年11月28日(金) 15時00分から16時15分まで
2 場所	東海村役場災害対策本部室
3 出席者	<東海村農業振興計画進行管理委員会委員> 川上美智子, 萩谷英之, 大内静夫, 須崎拓志, 萩谷慶太, 飛田浩光, 鈴木頼尚, 唐崎卓也, 松橋宏昌, 佐藤淑江, 郡司絵莉, 小原康彦, 塙紀昭 13名
	<東海村農業政策課> 農業政策課 津野田仁, 加藤隆志, 照沼光譲, 根本かほり 5名
4 欠席者	佐々木菜津希 1名
5 公開又は非公開の別	公開
6 非公開の理由	
7 議題	(1) アンケート・ヒアリング結果まとめについて (2) 東海村農業振興計画施策体系案及び目標値について (3) 東海村農業振興計画骨子最終案について
8 配布資料	別添のとおり
9 摘録	議題 (1) アンケート・ヒアリング結果まとめについて ・資料に基づき説明。 (◆: 委員の意見 ◇: 農業政策課) ◆前回委員会でも指摘したが、農業者アンケートに重複があるのでないか。農業者数855戸とアンケートの母数が合わないのはなぜか。 ◇農業者数はJAの回覧数が626戸、農業政策課で精査した229戸を加えた855戸に配布した。JAの回覧数と農業政策課で精査との重複を確認する手段がないので、農業者アンケート総数は855戸としたい。 ◆数字の出典がはっきりすればよい。 (2) 東海村農業振興計画施策体系案及び目標値について ・資料に基づき説明。 (◆: 委員の意見 ◇: 農業政策課) ◇アンケートで進行管理をする項目は、毎年の管理は難しい。しかし、できるだけ目標値を設定したい。 ◆目標値の設定は、内容がイメージしやすく、妥当であると考える。 ◆達成は可能な数字であると考える。 ◆農業法人とは何か、一般の村民にも分かりやすくしてほしい。

	<p>◇農業法人については、分かりやすい表現に変えるか、あるいは注釈を記載する。</p> <p>(3) 東海村農業振興計画骨子最終案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき説明。 <p>(◆ : 委員の意見 ◇ : 農業政策課 □ : 流通研究所)</p> <p>◆複数回答は、母数を超えるパーセンテージになるので、誤解のないよう、分かりやすく記載を修正して欲しい。</p> <p>◇修正する。</p> <p>◆気候変動の影響への対策を加えるべきではないか。</p> <p>◆サツマイモ基腐病等の病害虫に対する新技術は、施策の柱「4. 環境と調和のとれた持続可能な農業」に該当するので、そこに組み入れてはどうか。</p> <p>◇気候変動に応じた対策として、カメムシ防除とサツマイモ基腐病対策を施策に記載する。</p> <p>◆主な取組みに「村内飲食店と地元農業者のマッチング体制の構築」とあるが、手法のイメージはあるか。</p> <p>◇村では前例がないが、ひたちなか市は農政課が飲食店と農業者のマッチングを実施したようなので、参考にし、積極手に進めたい。</p> <p>◆S D G sや I C Tなどは、村民に分かりやすく意味を説明した方がよい。</p> <p>◇注釈を記載する。</p> <p>◆グラフが分かりにくい部分がある。10年前の前回アンケート結果との比較において、百分率のグラフとそうでないグラフが混在しているため、比較が分かりにくい。また、「n =」は村民に分かりにくい。</p> <p>□nは回答者数なので、n = 102は102人が回答したことである。10年前の前回アンケート調査と今回のアンケートで同じ設問があるが、前回はひとつだけ回答していたが、今回は複数回答とするなど、同じ設問でも回答方法が異なった。単純には比べられないが、設問が同じなので比較した。</p> <p>◆百分率の棒グラフにしてはどうか。</p> <p>◆比較せずにデータだけ載せてはどうか。</p> <p>◆グラフを百分率ではなく、値の方がよい場合もある。</p> <p>◆最も重視された意見が何かが分かるように表現を工夫して欲しい。</p> <p>◇前回との違いを確認するため比較したい。</p> <p>□複数回答を百分率にすることは統計学上問題があるので、設問ではなく回答の選択肢毎の棒グラフにすることを検討する。</p>
--	--

- ◆農家数が令和2年の値だが、なるべく直近の年度にできないか。
 - ◇正確な統計データとして農林業センサスを使用しているので、ご理解いただきたい。

- ◆グラフの凡例を見やすくしてほしい。
 - ◇修正する。

- ◆地元向けに野菜販売をしているので、地産地消のさらなる推進や環境に配慮した農業の推進、それに係る村民意識の高さはモチベーションにつながる。肥料価格が高騰しているので、村が循環型農業を推進することに期待する。
- ◆委員の多様な意見がよくまとめられている。
- ◆計画はよくまとまっているので、計画策定後の進行管理が大事である。
- ◆計画を踏まえ、学校給食においても、地産地消に協力していくたい。
- ◆目標値が設定されているところがよい。絵に描いた餅にならないように進行管理が重要である。
- ◆目標値は、努力しなければ達成できないものと、ある程度達成できるものが併記されているところがよいと思う。
- ◆地元のことを記載した上で、社会背景を記載した構成がよい。

(3)その他

事務局から、本委員会は、今年度は今回が最後とし、12月末から1か月間のパブリックコメントを実施し、来年3月末に計画を策定する予定であることを報告した。

以上